









※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（東京精電株式会社）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			性別、年齢、障がい、国籍、出身等による差別を防ぐ為、入社時には人権教育を受講し、また男女それぞれに相談窓口を設け差別がないことを確認している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			セクハラやマタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐため、男女それぞれに相談窓口を設け、対策している。また全体朝礼時動画教育なども実施している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8									16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			36協定で時間外労働時間の制限を設け、過度な長時間労働の防止に取り組んでいる。							8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			社員への人権教育を行っている。また外国人労働者本人への聞き取り調査もおこなっている。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			安全衛生委員会を設置し、作業中の事故や怪我の防止、社内環境の整備・改善について、年間計画により取り組んでいる。(会議は毎月実施し進捗確認)			3				8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			従業員のメンタルヘルス対策として、ストレスチェックの実施や、産業医による健康相談、社内に相談窓口を設け、メンタルヘルスを良好に維持できるよう取り組んでいる。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			弊社には外国人労働者、障がい者、高齢者、女性等多様な人材が勤務しており、それぞれが尊重され、充分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			弊社では人材育成に力をいれており、OJT教育、外部セミナー、資格取得支援、通信教育の受講あつせん等、様々な方法で従業員へ教育訓練の機会を提供している。				4	5.5		8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			雇用形態により賃金の差が出ているが、賞与では雇用形態に関わらず評価を行っている。					5.5		8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			健康経営の一環として、禁煙手当の支給を行い、喫煙者へ禁煙のアプローチを行ったり、始業前にラジオ体操を毎日放送し、社員の健康増進、生産性の向上に取り組んでいる。			3				8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物の種類ごと適切に分類し廃棄しており、適切に処理と管理を行っている。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			自社のエネルギー使用量を毎月管理しているが、温室効果ガスの排出量までは把握できていない。						7.3						13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			自社の過度なエネルギーの使用を管理し、温室効果ガス排出量の抑制に取り組んでいるが、排出量は把握できていない。						7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切に使用し、使用量の抑制の為、有害化学物質を含まない溶剤に変更するなど、対策を進めている。また特定健康診断も年1回受診している。			3.9		6.3					11.6	12.4						

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			環境設計に留意すること、有機溶剤や特定化学物質の使用制限、また顧客の使用用途を都度確実に確認する等の対応により生物多様性へに悪影響を及ぼさぬよう配慮している。							6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物は適切にリサイクル品はリサイクル品に分類、その他、設備や資源をむやみに廃棄することの無いように修繕や改造をしてリユースに取り組んでいる。										13		14.1						
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			水資源の利用量を毎月管理している。							6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			KES環境マネジメントシステムスタンダード認証を取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			環境への取り組みについて自社ホームページへ情報を公開している。											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			太陽光発電パネルを2か所(上田工場、東京営業所)の屋根に設置し、電力会社に売電している。							7.2					13						
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			天然資源を活用する材料の使用量が最小限となるよう環境に配慮した設計を行っている。											12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職、贈収賄を禁止する内容を就業規則に定め、社員へ周知している。また定期的に人事異動を行い汚職などの防止につとめている。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為に関与しない様就業規則に定め、社員へ周知している。																16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			特許(4件)取得し、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			特別個人情報管理規定を制定し、適切に管理している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			紛争鉱物(錫(スズ)鉱石・タンタル鉱石・タングステン鉱石・金鉱石)は弊社では取り扱っていない。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			サプライヤーからの協定締結依頼があったメーカーとは数社締結している。事業パートナーとのパートナーシップ協定を結んでいないが、取適法にのっとった取引で対応している。今後も当社サプライヤーや事業パートナーと協定を結び、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応に対し、認識を共有していく。						5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10								17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			ISO9001:2015の運用により製品・サービスの品質および安全性を確保し、仕組みを構築している。			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			ISO9001:2015認証を取得しており、ISO9001:2015に則り品質マネジメントシステムを構築し、実践・管理している。								9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			環境に配慮した設計を心がけ、塗装量の削減、製品サイズおよび板金使用量の見直し、削減に取り組んでいる。また廃棄部材の削減の目的から標準化、環境に配慮した部材の選定を行っている。						6					12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			石油などの化石燃料の枯渇への対策として開発されているスターリングエンジンへの研究開発に参画している。またインフラ関連の製品の開発にも取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			自社事業が地域社会に雇用を生み、また自社が製造する電源機器は社会のインフラ基盤の一部であると考え、地域社会への対応について事業計画に盛り込み対応している。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			赤十字募金、赤い羽根共同募金、UNHCR募金等の寄付を積極的に行っている。				4							11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			製品に使用する材料の仕入れは地元地域企業からの仕入れを優先しており、社内行事の際には地元地域の食材を積極的に活用するなどしている。								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			経営理念、経営目標を社員全員に共有する仕組みがあり、経営理念、経営目標達成の為、各部門毎に目標と計画を立て実行している。								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			法令に関する担当者を決め、委員会を設置し、法令を確実に遵守するよう、体制作りに取り組んでいる																16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			環境に関する管理基準を設け、各部署1人ずつ担当を決め、毎月管理を行い環境会議で報告している。																16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			ステークホルダーとコミュニケーションを積極的に取り、ステークホルダーに影響を及ぼす活動の把握及び現状と対策について、部門毎確認し、毎月会議で報告している。年1回SWOT分析を経営企画会議で実施し、経営方針、部門方針、目標に反映し、活動している。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			各部門毎リスクを特定、評価し、対策を実行し毎月の安全衛生委員会で結果を報告している。経営としてはSWOT分析によりリスクの洗い出しを行い毎年の部門目標に反映させ月1回の品質保証会議で進捗確認を行っている。																16		
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			当社事業が社会や環境に及ぼす影響を社内でも共有しており、またCSR活動の一環として、会社周辺の清掃活動を月1回行っている。																16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			事故や災害発生時の為の事業継続計画の作成を行いBCP登録を行った。									9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			弊社はオーナー企業ではなく、社員から経営者を輩出している為、次期経営者候補の育成を行っている。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定